

## 板橋区環境教育推進プラン 2025 の進捗状況について

板橋区環境教育推進プラン 2025（以下、「本プラン」という。）における、平成 29 年度の進捗状況を取りまとめたので報告する。

### 1 本プランについて

#### （１）位置づけ

本プランは、「環境教育等促進法」の規定に基づく、「区域の自然的社会的条件に応じた環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組の推進に関する行動計画」として策定している。また、「板橋区環境基本計画 2025」の基本目標を具体化していくための計画としても位置づけている。

#### （２）計画期間

本プランの期間は、「板橋区環境基本計画 2025」の計画年次である平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間としている。

#### （３）指標

本プランでは、環境教育が効果的に実施されているかどうかを測るものさしとして、10 の成果指標を設定し、数値目標を立てて達成状況を管理している。

### 2 平成 29 年度実績値における進捗状況の点検・評価

平成 29 年度における成果指標の進捗状況について、点検・評価を行った。成果指標については、目標値に対する進捗度を「順調」又は「停滞」で評価し、行動変容については、成果指標の基準年値の値が無いものがあることから、平成 28 年度の値を基に、平成 29 年度からの進捗を評価する。全体の評価結果は以下のとおり。

表 1 成果指標の目標達成状況

施策	成果指標数	内訳	
		順調	停滞
施策 1：学びの機会の提供	2	1	1
施策 2：情報の提供・活用促進	1	0	1
施策 3：人材の育成・活躍促進	2	1	1
施策 4：場・拠点の整備・活用	2	1	1
施策 5：学校等での環境教育の充実	1	0	1
行動変容	2	1	1
計	10	4	6

表 2 平成 29 年度における成果指標の実績と進捗状況

成果指標	基準年値 平成 26 年度	目標値 平成 37 年度	平成 28 年度 実績値	平成 29 年度 実績値	達成率	進捗度 ※1
施策 1：学びの機会の提供						
①全区民参加型環境保全 キャンペーン参加者数	25,674 人	31,500 人	26,916 人	27,892 人	38.1%	順調
②環境講座参加者数	22,898 人	30,000 人	23,747 人	19,527 人	-	停滞
施策 2：情報の提供・活用促進						
③環境教育プログラム利 用校（園）の割合	74.4%	100%	80.0%	74.6%	1.0%	停滞
施策 3：人材の育成・活躍促進						
④人材育成に関わる環境 講座参加者数	199 人	400 人	193 人	241 人	20.9%	順調
⑤環境学習講師派遣人数	363 人	500 人	308 人	235 人	-	停滞
施策 4：場・拠点の整備・活用						
⑥環境登録団体数	27 団体	37 団体	28 団体	29 団体	20.0%	順調
⑦エコポリスセンター事 業へのボランティア等 参加者数	990 人	1,300 人	730 人	842 人	-	停滞
施策 5：学校等での環境教育の充実						
⑧外部人材を活用した環 境学習実施校（園）の割 合	76.1%	100%	77.4%	66.7%	-	停滞
行動変容						
⑨エコ生活（アクション 9）の実施状況	75.0%	100%	82.4%	83.7%	34.8%	順調
⑩環境講座受講後の知 識・考え方の変化があっ た者の割合	- ※2	100%	63.0%	66.9%	10.5%	停滞

※1：計画最終年度の目標達成に向けた進捗状況。基準年値と比較して実績値がこのままのペースで推移した場合に、達成率が 100%以上になるものを「順調」、100%まで届かないものを「停滞」とした。（平成 29 年度については、10 年計画の 2 年度目（一部を除く）であるため、達成率が概ね 20%を超えているものを「順調」とした。）

※2：行動変容の基準年値のないものについては、平成 28 年度の実績を基準とした。（平成 29 年度が評価の初年度であるため、残年数から達成率を算出した概ね 12%を超えている場合を「順調」とした。）

### 3 施策ごとの成果指標の進捗状況概要

#### 施策1：学びの機会の提供

##### ■ 進捗状況

- ・成果指標の全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数は、平成37年度の目標値に向けて、数値を伸ばし、順調に推移した。環境講座参加者数は、平成28年度の実績値から減少し停滞となった。

##### □ 平成29年度の主な成果

- ・全区民参加型環境保全キャンペーンの参加者数のうち、「板橋クリーン作戦」及び「打ち水キャンペーン」の実績数が基準年値から増加した。

##### ◇ 進捗が停滞している項目の要因・今後の方向性等

- ・環境学習講座参加者数については、エコポリスセンターの夏休みエコスクール等の回数の減少が要因と考えられる。今後、より効果的かつ魅力的な講座を提供すると同時に、区内環境団体等とも協働し、講座の種類を充実させることで、学びの機会を増やしていく。

#### 施策2：情報の提供・活用促進

##### ■ 進捗状況

- ・成果指標の環境教育プログラム利用校（園）の割合は、平成26年度の基準値のほぼ横ばいとどまり、平成28年度の実績値を下回った。

##### □ 平成29年度の主な成果

- ・環境教育プログラム利用校（園）の割合は、小学校92.3%（48校）、中学校95.5%（21校）と目標達成に近い値となっているが、幼稚園が50%（1園）、保育園が39.5%（15園）となり、全体としては平成28年度の数値から下がり74.6%となった。

##### ◇ 進捗が停滞している項目の要因・今後の方向性等

- ・平成28年度の実績と比較すると保育園での活用数が、減少した。エコポリスセンターの出前講座で実施していた「ヤゴの里親事業」が平成29年度から保育士研修の課程に組み込まれ、出前講座が減少したことが要因と考えられる。出前講座以外でも保育士が環境教育プログラムをより活用していけるよう普及促進を図っていく。

#### 施策3：人材の育成・活躍促進

##### ■ 進捗状況

- ・成果指標の人材育成に関わる環境講座参加者数は、平成37年度の目標値に向け、数値を伸ばし、順調に推移した。環境学習講師派遣人数は、平成28年度の実績値から減少し、停滞した。

##### □ 平成29年度の主な成果

- ・人材育成に関わる環境講座参加者数のうち、「指導者養成講座」については、内容や回数の充実を図り、平成28年度の実績から推移を伸ばした。また、エコポリスセンターが行っている教員研修や保育士研修においては、出前講座の内容を新たに組み込むなど、各教員・保育士が現場で活用しやすいよう研修内容を見直した。

##### ◇ 進捗が停滞している項目の要因・今後の方向性等

- ・エコポリスセンターでの人材育成に関わる環境講座の参加者数が増える一方で、出前講座や外部への講師派遣人数が減少し、進捗度は停滞という評価となった。今後、エコポリスセンターでは「区民が区民を育てる仕組み」を構築することで講師役を担う人材を育成し、かつ派遣先のニーズに合わせた内容で実施していくことに注力していく。

#### 施策4：場・拠点の整備・活用

##### ■ 進捗状況

- ・成果指標の環境登録団体数は、平成37年度の目標値に向けて、順調に推移した。一方、エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数については平成28年度の実績値から実績数が増加しているものの、平成26年度の基準年値を下回り、停滞した。

##### □ 平成29年度の主な成果

- ・環境登録団体数の実績数は、29団体と伸び、順調に推移している。

- ・エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数については、平成 29 年度から新たな指定管理者のもと、各主体の活動機会および活動の場の提供を積極的に行い、平成 28 年度からは実績を伸ばしている。

◇ 進捗が停滞している項目の要因・今後の方向性等

- ・エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数については、新たな指定管理者のもと、ボランティアを「エコライフサポーター」と位置づけ、ボランティア人材の育成・確保を図り、環境イベント・事業に参加する機会を設け、新たな活躍の場を提供していく。

**施策 5：学校等での環境教育の充実**

■ 進捗状況

- ・成果指標の外部人材を活用した区立の環境学習実施校（園）の割合は、平成 28 年度の実績値から減少し、停滞となった。

□ 平成 29 年度の主な成果

- ・外部人材を活用した環境学習実施校（園）の割合は、幼稚園では 100%（2 園）、保育園 42.1%（16 園）、小学校 100%（52 校）、中学校 27.3%（6 校）となっている。また、学校では、各教科領域に合わせた環境教育に、積極的に取り組んでいる。

◇ 進捗が停滞している項目の要因・今後の方向性等

- ・各校（園）においては、エコポリスセンターの出前講座のほか、民間事業者・地域住民・保護者等と連携した学習や、町会等の地域人材を活用した環境活動も活発化してきている。エコポリスセンターにおいても、区内環境団体と協働し、出前講座の内容をより魅力的なものとして提供できるよう環境教育プログラムを充実させていく。また、各学校での環境教育プログラムの活用促進を図るため、小中学校の教科書改訂に合わせ、環境教育ハンドブックをより活用しやすく改訂するなど、教育委員会とも連携し、今後さらに環境教育の推進を図っていく。

**行動変容**

■ 進捗状況

- ・成果指標のエコ生活（アクション 9）の実施状況は、イベント等の来場者アンケートから集計したもので、平成 28 年度の実績から数値を伸ばした。環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合は、エコポリスセンター等の環境講座を受講した前後で、「環境」についての知識や考え方に変化があった者の割合である。平成 28 年度の基準年値から、数値を伸ばしたものの、進捗が鈍く停滞とした。

□ 平成 29 年度の主な成果

- ・エコ生活（アクション 9）で最も実施率の高かった取り組みは、「アクション 6：水道はこまめに止めよう」89.7%で、9つの取り組みのうち半数以上で80%を超えていた。また、環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合は66.9%で、半数を超えており一定の成果を得た。

◇ 進捗が停滞している項目の要因・今後の方向性等

- ・環境講座受講後の知識・考え方の変化があった者の割合については、今後、講座内容等をより充実したものとし、環境に対する意識を向上させられるよう取り組む。